

## 〈京都会場プログラム〉

趣旨説明	14:00-14:15	
総論1	14:15-15:00	<b>「都市ローマに潜む危険と恐怖：ローマに迫る一つの脅威について」</b> RISK AND FEAR IN THE CITY OF ROME: A THREAT TO THE ROMAN STATE レイ・ローレンス PROF. RAY LAURENCE マッコリー大学教授（古代史）
総論2	15:00-15:45	<b>「古代ローマ時代の窓ガラス：その誕生および発展」</b> ANCIENT ROMAN WINDOW GLASS; ITS BIRTH AND DEVELOPMENT 藤井 慈子 DR. YASUKO FUJII イタリア在住研究者

各論1 ポンペイ	15:45-16:30	<b>「かつて住宅にはドアノッカーがあった！ 初期元首政における社会変化による影響の可能性としてみる 紀元後1世紀後半における古代ローマ住宅における 建築平面およびセキュリティの変化」</b> ‘ONCE THERE WERE KNOCKERS TO BE STRUCK’: TRANSFORMATIONS IN THE ARCHITECTURAL LAYOUT AND SECURITY OF ROMAN RESIDENTIAL BUILDINGS IN THE 2ND ½ OF THE FIRST CENTURY C.E. AS A POSSIBLE REFLECTION OF SOCIAL CHANGES UNDER THE EARLY PRINCIPATE エヴァン・プラウドフット DR. EVAN PROUDFOOT 博士
----------	-------------	---

各論2 ポンペイ	16:30-17:15	<b>「オスティアの街角にみる聖なるお守りたち」</b> SEEKING DIVINE PROTECTION IN THE STREETS OF OSTIA ジャネット・ディレーン DR. JANET DELAINE ディレクター、ウォルフソン・カレッジ・オックスフォード大学
質疑応答	17:15-17:45	
総括	17:45-18:00	<b>「ポンペイ・ヘルクラネウムからオスティアへ、 防災、防犯の観点からみた都市・建築の歴史」</b> FROM POMPEII AND HERCULANEUM TO OSTIA, HISTORY OF SAFETY AND SECURITY 堀 賀貴 PROF. YOSHIKI HORI 九州大学教授

## 第3回連続国際シンポジウム 3RD INTERNATIONAL COLLOQUIA "RISK MANAGEMENT IN ANCIENT ROME"

# 「古代ローマの危機管理」

## 3月10日(日)

# 京都

14:00 - 18:00  
於：京都大学法経第4教室(1階)  
日英逐次通訳付

本国際シンポジウムは2015-18年セコム科学技術振興財団研究助成「古代ローマ帝国の防災・防犯マネジメント」、2018-20年基盤研究(A)(一般)「ポンペイとオスティア:古代ローマにみる建築術の総体としての都市と技術の大衆化」(研究代表者：堀賀貴九州大学教授)の成果の一部として開催されるものです。

主催：九州大学大学院人間環境学研究院 都市・建築学部 建築・都市史研究室  
協賛：九州大学大学院人間環境学研究院  
後援：一般社団法人 日本建築学会

連絡先：九州大学大学院人間環境学研究院 都市・建築学部 建築・都市史研究室  
Tel: 092-802-5184 (直通) Fax: 092-802-5297 e-mail: hori@arch.kyushu-u.ac.jp

〒819-0395 福岡市西区元岡744九州大学イーストゾーン1号館A-329  
HP: <http://history.arch.kyushu-u.ac.jp/HAU/labo/>